

平成26年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

1, 本校の状況

(1) 学力の面から

問題A：主に「知識」に関する問題 問題B：主に「活用」に関する問題

①国語

○問題A：「知識」について

- ・全ての項目で全国平均を上回っている。

○問題B：「活用」について

- ・ほぼ全ての項目で全国平均を上回っている。
言語についての知識・理解・技能がやや全国平均を下回っている。

②数学

○問題A：「知識」について

- ・ほぼ全ての項目で全国平均を上回っている。
長方形の2倍の拡大図をかく問題は全国平均をやや下回っている。

○問題B：「活用」について

- ・ほぼ全ての項目で全国平均を上回っている。
事象を理想化・単純化して、事象を数学的にとらえ、他の事象との関係を考える問題では、全国平均をやや下回っている。

③全体として

本校の生徒は、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている生徒が多い。

また、活用に関する問いの正答率も高い。しかし、県平均をやや上回っているものの、昨年度とあまり変化が無く、更に知識、活用とも力を高めていく指導を検討していかなければと考えている。

国語、数学ともに、昨年度よりも知識、活用ともやや下降傾向にあるため、少人数指導のあり方を工夫したり、思考力・判断力・表現力を育成するための指導過程の工夫を施していきたい。

この2教科得点分布を分析すると、得点の下位層にも山ができ、全体的に二極化の傾向が見られる分布になってきた。下位層の力を高めていけるように、ICT教育の推進をさらに図るとともに、個に応じた指導の充実を図り、言語能力や応用力の育成に努めたい。

(2) 生徒の質問紙から

全国学力・学習状況調査の時に行われた、生徒の質問紙のデータから全国平均と比べて差があるものを下記に掲載いたします。

- ①「普段（月～金）、1日あたりどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしていますか」という問いでは、全国平均よりも数ポイント低い。
- ②「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらい勉強をしますか」という問いには全国平均より数ポイント高い
- ③「家の人（兄妹姉妹を除く）は、授業参観や運動会など学校行事に来ますか」という問いについては全国平均より10ポイント程度高い。
- ④「自分で計画を立てて勉強しているか」という問いに対しては全国平均より数ポイント高い。
- ⑤「学校に行くのは楽しいですか」という問いには全国平均より数ポイント高い。
- ⑥「学校の先生はあなたを認めてくれていると思いますか」という問いに対して、全国平均より10ポイント程度高い。
- ⑦「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか」という問いに対して、全国平均よりも数ポイント高い。
- ⑧「新聞を読んでいますか」という問いに対して、全国平均より数ポイント低い。
- ⑨「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」という問いに対して、全国平均よりも数ポイント低い。
- ⑩ 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますかという問いに対して、全国平均より数ポイント低い。